

デーリー東北  
2018年（平成30年）9月6日（木曜日）（2）

## 地域の課題解決へ協力 階上町と八工大が連携



協定書を交わした浜谷豊美町長（左）と長谷川明学長＝5日、階上町役場

階上町は5日、八戸工業大（長谷川明学長）と連携協定を締結した。両者は今後、産業振興やまちづくり、防災・減災などさまざまな分野で協力し、地域や行政の課題解決に取り組ん

でいく考え。

同大はこれまで、町政に関する会議に大学関係者が委員として参加。町の施設のロゴデザインを同大感性デザイン学部の学生が制作するなど、キャンパスの立

地が近いことを生かし、町と関わりを持ってきた。

協定を機に、来年度以降は、高齢化や人口減少などがもたらす地域の課題や、観光・産業振興に対し、学生が主体となって取り組む機会を増やすという。

この日は町役場で締結式が開かれ、浜谷豊美町長と長谷川学長が協定書に署名した。

浜谷町長は「防災への取り組みや町民の暮らしに役立つ分野などで、大学の持つ強みを活用していきたい」と強調。長谷川学長は「インフラの老朽化など地域が抱える課題に、町の皆さんと一緒に取り組む機会としたい」と意気込んだ。

（田中周菜）